

令和6年度第8回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	令和6年11月26日（火）午前11時から		
開催場所	奈良市役所 中央棟4階 401会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	真銅副市長 小西総務部長 中岡法令遵守監察監 谷田市民部長 山口環境部長 梅田都市整備部長 垣見教育部長	
	事務局	契約課長 補佐	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	奈良町にぎわい課
議題 又は案件	奈良市奈良町南観光案内所運営事業及びにぎわい創出事業		
決定又は取り纏め事項	採用		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 議事の概要

(1) 業務の目的

奈良町南観光案内所を「奈良町の南の玄関口」と位置づけ、奈良町全体の観光拠点として、また地域に根差した魅力ある観光施設とし、奈良町の魅力を発信することで、奈良町全体を活性化させるため、加えて、本市の観光客の宿泊率向上に寄与するための事業で、これを委託により行うものである。

(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由

奈良町において、将来にわたり奈良町のにぎわいを持続・発展させていくためには、観光客が周遊する仕組みづくりが必要であり、コロナ禍を経て、魅力的な宿泊施設や飲食店が増えている状況下においては、奈良町の南の玄関口として位置付けている案内所の役割は大きい。

そのため本市では、観光情報の提供はもとより満足度の高い施設運用、魅力あるイベント開催や地産物等の販売などで地域活性化につなげられるよう、奈良町を訪れた観光客、また地域住民にとっても訪れたい施設として運用することを目指している。

また、夜の奈良を楽しめる取組や周辺の観光関連施設との連携等を通じて、観光客の宿泊率向上、観光消費額の拡大を図ることを目指している。

これらの業務を実施するにあたっては、民間事業者等の専門知識やノウハウ等を活用した創造力・技術力・支援体制が必要となるため、企画提案等を求め、その内容、能力及び効果等総合的に比較し、行うべきものである。

以上のことから、通常の価格競争には馴染まないと考え、競争入札によらず、企画書の提案やプレゼンテーションのヒアリングによるプロポーザル方式を採用しようとするものである。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。